



校報 たいらだて

第 8 号

八幡平市立平舘小学校

文責：長山 政志

2学期スタート 元気に登校！



8月20日、2学期がスタートしました。大きな病気や事件に巻き込まれるようなこともなく始業することができました。保護者や地域の皆様が様々なご配慮をいただいたお陰と思っております。感謝申し上げます。始業式の朝、外で会ったほとんどの子が元気にあいさつをしてくれました。また、始業式で体育館に入ってきた時にも、「おはようございます」とあいさつをしてくれました。子ども達にあいさつが習慣化しつつあること、学校だけではなく家庭や地域でも声をかけてくださっているおかげです。また、静かに時間前に体育館に集合する姿に、子ども達の成長と2学期にかける思いを感じ大変うれしく思いました。

始業式で私からは、努力することについて話をしました。「努力をしたからといっても報われないこともある。しかし、努力をしなければ報われることはない。」ことをパリオリンピックに出場した池江璃花子のエピソードをもとに考えてもらいました。そして、努力を続けることが大きな力になり、「なりたい自分」に近づいていくそんな2学期にしたいことを確認しました。



白血病と戦いながら今回のオリンピックにかけてきた池江選手。自身の結果にどのような思いをもったのでしょうか。

そして、これからに向けてどんなことを考えたのでしょうか。

ふつう 普通でいようとする努力ばかりしていたら
きづくに気付くことはないでしょう。

すごくなれるか

飛(と)べないなら走(はし)りなさい。
走れないなら歩(ある)きなさい。
歩けないなら這(は)いなさい。

けれども何(なに)をするにせよ、

前進(ぜんしん)し続(つづ)けなければなりません。

6年生執行部の作文より

…校内マラソン大会や、学習発表会などの大きな行事もあります。また、5・6年生は陸上競技会もあります。1学期に付けた力を生かし、自分の目標をしっかり持って、粘り強く取り組み、さらに力を伸ばしましょう。

児童会では、2学期も「笑顔でなかよしいらっこ」のスローガンのもと、「げんきなあいさつ」「思いやりをもった行動」「正しいろうか歩行」をがんばっていきましょう。各委員会でも工夫した取り組みをし、楽しい学校生活にしましょう。

夏休み作品展

思いを形に

夏休みの課題として、子ども達ひとりひとりが作品を手掛けました。保護者の皆様には、お子さんの思いを形にするべく支え導いてくださったことに感謝しております。より良いものにするために相談に乗ってくださったり、ヒントを出して下さったりしたことが新たな学びにつながったことと考えます。作品は工作や研究、調理など多岐に及んでいました。興味関心を追究したもの、時流に沿ったもの、これまでの各教科の学習を発展させたものとバラエティーに富んでいました。子ども達にとって、「自分の思いをもつ」「完成までの道筋を考える」「取り組んだことを伝える」ことは、大切な力となります。学級での発表の様子や展示された作品を見ましたが、すべての作品にその子なりのこだわりや思いを感じました。形としてあらわすことばかりでなく、思いを言葉で表すことも大切な力です。各教科の学習でも、自分の考えをもち、言葉にして伝えることを意識的に行っています。子ども達一人ひとりにとって、言葉として伝える力をつけることはとても大切です。今後も保護者の皆様には、子ども達が悩んだときや困ったときに知恵を貸していただき、優しく見守りながら思いを聞いていただければ幸いです。



【作品展の様子】



【作品展の様子】

ある日の出来事から

◇ ある時間のことです。6年生の子ども達が陸上大会のリレーの話をしていました。バトンをどうしたら早くなるかという内容でした。運動会で各組が工夫して練習したことを生かして、陸上大会に向けた作戦を考えていたのでした。いくつかヒントを出しながら一緒に考えてみました。その後休み時間に練習を始めた子ども達。本番に向けた挑戦を応援していきたいと思います。

◇ 児童集会でのことです。今回の内容はゲーム集会でした。なぞなぞとじゃんけん列車で全校の交流を深めました。なぞなぞの答えを執行部が言うと、「あ〜」とか「そうか!」という声が自然に聞こえます。自分の中で納得がいったのでしょうか。様々な場面で自分自身が、納得できるが今後もたくさんあることを願っています。

